

ことわざ・慣用句シリーズ

ここでは毎月、覚えておきたいことわざと慣用句を取り上げます。みなさんはどのくらい知っていますか？

慣用句

『泡(あわ)を食う』

意味:びっくりしてあわてること。

ひとこと:“泡”はあぶくのこと。

使い方:先生が突然家に来られたので『泡を食った』

『息が合う』

意味:気持ちや動作がぴったり合うこと。

ひとこと:“息”は一緒にいる人たちの気持ち。

使い方:運動会の二人三脚はみんなの『息が合う』ことが大事だ。

ことわざ

『石橋(いしばし)をたたいて渡る』

意味:非常に用心深い様子のこと。

ひとこと:『浅い川も深く渡れ』『念には念を入れよ』という言い方もある。

使い方:彼は『石橋を叩いて渡る』ような人だからうまい話には簡単に乗ってこない。

『急がば回れ』

意味:危ない近道を行くより、遠回りでも安全な道を行くほうが早く着くと言う意味。

ひとこと:『せいてはことを仕損じる』という類義表現もある。また対義語としては『善は急げ』がある。

使い方:おつかいの途中、工事をしていたので『急がば回れ』だと回り道をした。